



5分で読める  
多忙解消紙

とやまケンキヨーソ特命

# 多忙解消 SP

セキュリティーポリス  
No. 1



これ以上の多忙化は断じて許さない…

## 帰るのが8時半を過ぎる人は気を付けて！



カクタニ

8時半に帰る人は4時間の残業をしています。4時間とは半日ですから、1日で150%の仕事をしていることになります。毎日続けると1ヶ月では80時間を超えます。これはいわゆる「過労死ライン」と呼ばれるレベルです！

## 今すぐ！あなたの残業時間をチェック！

帰宅時刻	6時半	7時半	8時半	9時半	10時半	11時半	12時半
1ヶ月の推定残業時間	40時間	60時間	80時間	100時間	120時間	140時間	160時間

\* 勤務時間を4時30分までとして、1ヶ月20日の労働日数として計算。実際は、朝早く来たり、持ち帰ったり、休憩時間や土日も仕事をしたりしているので、これよりも多くなります。

## 富山県では4人に1人が80時間を超える残業をしています！



サニー

中学校では約半数という異常な状況です。本来教員にはこんなに多くの残業をさせてはいけないことになっています。これは明らかな管理職の管理不行き届きなのです。



マツモト

9時半に帰る人は100時間。これは本来、医師との面談が義務づけられているレベルです。実際はこのレベルの人は休日も仕事をしているでしょう。疲れがたまってきたら体調管理に気をつけてください！

## これ以上、仕事を増やさない方法は裏に!!

セキュリティーポリス

### とやまケンキヨーソ特命多忙解消SPメンバー紹介

委員長 <b>佐幸 明</b> ミスター県教組。教育問題を語りだしたら止まらない。	書記長 <b>能澤 英樹</b> 土日はコシヒカリ農家。趣味はパン作り。	高岡支部担当執行委員 <b>角谷 壮績</b> かつては部活の鬼監督。今は休日の大切さも知る。	魚津支部担当執行委員 <b>大上戸 剛司</b> STAR WARS 大好き。マグカップはストーム・トルーパー。	富山支部担当執行委員 <b>松本 智子</b> 忙しい時のほっとひと息タイム。お菓子配り係ならまかせて。	砺波支部担当執行委員 <b>湯浅 慎治</b> 汗を流した後のサウナが大好き。専門は美術。	特別支援担当執行委員 <b>杉本 一美</b> 末っ子は中1。保護者目線でも語ります。



ユアサ

# 一つ増やしたら一つ減らす!!

これを合言葉にしましょう。ポイントは

27

## ポイント1 仕事が増える瞬間を見逃すな!

例えば、教頭先生が新しい仕事を提案したとします。

「期末テストの得点をグラフにして分析をしてください。そして弱い部分に力を入れて指導することにしましょう。」

今までの私たちなら「これも子どもたちのためか」と自分で自分を納得させてとりくんだかもしれません、これを許すとまた残業が増えます。やんわりとこう提案しましょう。



スギモト

「私たち、毎日7時、8時まで仕事をしても終わらない状態なのです。一つ増やすなら、何か一つ減らしてください。」

## ポイント2 行動は仲間と一緒に!

そして、あらかじめ約束しておいた誰かが続きましょう。「子どもにとってやればいいのは分かりますが、すべてをやっていては私たちはつぶれてしまいます。すでに1ヶ月80時間以上の残業をしている状態なのです。これ以上1分も増やさないでください。」

まる

2人言えば雰囲気的に無理強いことは難しくなります。



ノザワ

実際に私が現場でこの言葉を言ったときは、実に面白い現象が起きました。校長が「うーん」と悩んで、「何を減らそうかなあ。増やすのは簡単なんだけど、減らすのは難しいんだよなあ・・・」と言って会議がしばらく沈黙のままストップてしまいました。結局こちらから代案を出し、提出書類を一つ減らすことに成功しました。



ダイジョウゴ

さて、ここまで読んでくださったあなた!ぜひ、お近くの仲間に「一つ増やしたら、一つ減らす」を声に出す作戦の相談をしてください!分会集会で話題に取り上げていただけたらもっと効果的です!

## 皆様の声をお待ちしております

多忙解消SPでは、紙面を通して多忙化解消の具体的なアドバイス、解決事例の紹介をします。お困りのことや多忙解消事例などありましたら、ぜひご連絡ください。

富山県教職員組合 電話 076-441-4451 メール ttu@room.ocn.ne.jp

(担当 能澤)

多忙反対!家庭第一のイクメン教師

つるぎ

## 剣マモルが行く!

一つ増やすなら一つ減らせ!の巻

### 職員会議



この件については、早急に子どもたちにアンケートを提出するように。考察を

六年担任  
剣マモル



めずらしく前向き……



※先生は「足し算」は得意ですが、「引き算」は苦手。普段から「引き算脳」を育てておきましょう。